

伝統のおきあげ技法の「押絵」づくり

「筑後吉井おひなさまめぐり」の新企画として、おきあげ技法の「押絵」づくりが体験会として3回開催されています。箱雛の周りに飾られてきた「おきあげ」は羽子板の押し絵のように下絵を描いて厚紙に写し、布地でくみ、貼り合わせて作られます。



3回目は桜を題材に押絵を作る予定です。お気軽にお申し込みください。

日時：3月31日(土)午後1時から(2時間程度)、
場所：アンティーク着物「むすび」(吉井町)、
参加費：500円(材料費、甘酒付き)、**定員：8人**、
申込み：実行委員会(市観光協会)Tel76-3980



▲ 初回 2月17日の様子 (国道210号沿いの店舗が会場)



▲ 箱雛(左)とおきあげ(右) ▲ 初回は、椿を題材に作製

小学生が地域の観光資源を取材して、「手作り観光マップ」を制作



▲ 御幸地区の観光マップを制作中



▲ 取材先の写真からいいものを選ぶ(パソコンルーム)



▲ アプリのQRコード

2月23日、御幸小学校5年生の授業で、「手作り観光マップ」の制作が行われました。児童は事前に地元の観光資源や店舗等を取材して、伝えたい魅力を模造紙にまとめました。

完成したマップは、2年前からこの授業に取り組む吉井小学校5年生の制作分とともに、観光アプリ「おさんぼうきは」に掲載される予定です(上のQRコードからダウンロード可)。



インバウンド講習会～観光案内を体験～

2月20日、うきは市民センター会議室で、外国人のおもてなしに関する知識・スキル向上を目的とした講習会が開催され、ドイツ・イタリア・メキシコ・中国出身の外国人を相手に、うきは市の観光案内を体験しました。写真＝メキシコ人(中央)とのコミュニケーション



“世界一甘い桃”を作る農家から学ぶ

2月15日道の駅うきは研修室で、“世界一甘い桃”(糖度22.2度)がギネス世界記録に登録された農家・松本隆弘さん(大阪府岸和田市)の講演会(主催:桃生産者の会)が開催され、土壌改良の努力により糖度が上がり、生産地全体のブランド力も向上したことなどが紹介されました。